

くめなん

令和3年 8月31日
久米南中学校便り NO6
校長 下山 洋

2学期がスタート・始業式そして授業・体育会準備

始業式

残暑厳しい中、それでも気がつけば朝夕の風には秋の気配を感じる8月下旬、8月27日（金）から令和3年度第2学期がスタートしました。（実際には25日からテストや体育会の練習や準備で登校していましたが...）感染予防のため、放送での始業式で2学期の第1日目が始まり、夏休み気分を一新し、気持ちを学校モードに切り替えました。今年の夏休みは、新型コロナウイルス感染症対策や、熱中症対策、また後半は西日本の各地に災害をもたらした長雨とまさに命に関わる行動はどうあるべきかが問われた休みではなかったでしょうか。2学期も新型コロナウイルス感染症に十分注意し、感染予防を意識しながら充実した学校生活を送っていきましょう。

さて、1学期の終業式の日『転機』について話をしましたが、生徒の皆さんは何か『転機』が訪れたでしょうか？現在岡山県は、コロナウイルス感染症緊急事態宣言下にありますが、この状況も何かの『転機』になるかもしれません。あなたの生活の中にはいくつもの『転機』があります、学校の行事で、部活動で、人との出会いでなどなど...『転機』に気付くかどうかはあなた次第です。

さあ、まずは体育会です。コロナウイルスの感染状況による新たな制約があるかもしれませんが、このような特別な時だからこそ、お互いに知恵を出し合っていきましょう。大切なことは様々な行事を通して人間的に成長していくことです。また、そのことが中学生の本分としての学力の向上にもつながらなければならないと思います。

中学校の3年間は学校や社会の決まり（秩序）を守り、人間的な成長を目指す大切な期間ですが、自分の将来の進路決定を行う3年間でもあります。現実として3年生は、あと数ヶ月後には入試を迎えます。1・2年生は入試を自分にとってはまだ先のことだからと安易にとらえてはいないでしょうか？1・2年生から積み上げた学力が3年生での受験を支える力となるのです。中学生として、しなければならないこと（勉強・様々な決まりや規則を守る・友人との協力・家庭での家事分担・・・）をしっかりとやって欲しいと思います。卒業という3年間のゴールで、「もっと頑張っておけばよかった。」「あの時、こうしていればよかった。」というような悔いを残さないためにも、その瞬間、瞬間に最善を尽くして欲しいと思います。



瞬間、瞬間を完全燃焼すること。

その点の連続が未来につながる。（稲盛和夫）

夏休み中には、県総体がありました。大会に出場した選手の皆さん（ソフトテニス・剣道・陸上）お疲れ様でした。また、吹奏楽部の皆さん県大会『金賞』受賞おめでとうございます。2学期からは部活動も1・2年生が中心となります。先輩から引き継いだ伝統を大切にしながら、新しいチームを作っていくてください。